



みんなでつなごう！支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 32 号
令和 7 年 6 月発行
高崎市生活支援
コーディネーター
通信

みなさまへ

雨の日が多くなる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。市内の第 2 層協議体で、少しずつ住民主体の居場所づくりや助け合い活動などの話し合いが進められています。SC 通信も 32 号となりました。過去のバックナンバーに活動の立ち上げプロセスを掲載しております。ぜひ、ご覧いただき、参考としてください。そして、市内の活動同士がつながっていきけるようにしていきましょう。

滝川・京ヶ島
地区

中島ふれあい館で誰でも集える居場所づくり



協議体

誰でも集える
居場所をつくろう

他の地域の見学
もした

協力できる人を
探してみよう！

協力者・関係者を
含め、立ち上げに
向けた検討

区長も含め
協力者同士で
意識合わせ

居場所づくり
スタート



【様子】当日は、31 名の方が居場所に参加してくださり、大盛況の会になりました。
【今後】今後も月に 1 度の定期開催を目指して活動を継続していきます。

高崎市長寿社会課事業担当（新規採用職員）よりメッセージ



4 月に入庁しました アシェ綾子 と申します。
これから皆様にご指導ご鞭撻いただきながら、精一杯努力し
てまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。



第 1 層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があれば、コーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第 1 層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

地域支え合いサポーター養成講座とは…



協議体・高崎市の共催で実施

⇒協議体活動の進捗に合わせ、把握したニーズに合わせた担い手の養成

- **地域支え合いサポーター養成講座は「基礎講座」**
 - **地域支え合いサポーターとして地域で活動するにあたり、協議体や活動の必要性、ボランティア活動の留意点を学ぶ。**
- ※ 協議体の趣旨に賛同し、サポーターとして活動できる方は、養成講座を受ける前でも登録できます。



地域づくりを考える人

【どんなことをするか】

勉強会や協議体へ参加し、地域づくりを考え活動する人。

【どうすればなれるか】

特別な研修は必要なく、生活支援体制整備事業の趣旨に賛同し、市に名簿登録する。

【その他】

継続的・積極的に地域づくりに参加するサポーターは、協議体メンバーとなる。

活動の担い手

【どんなことをするか】

協議体で創出された活動の担い手として、活動する。

【どうすればなれるか】

所定の研修を修了し、市に名簿登録する。

【その他】

研修は必要に応じて協議体と市が共催で開催する。

地域支え合いサポーター養成研修 (例)

- ・挨拶（第2層協議体メンバー）
- ・講義
 - (1) 地域支え合いサポーターとは（長寿社会課）
 - (2) 活動の心構え・留意点
ボランティア保険等（社会福祉協議会）
 - (3) 地区の活動状況説明
- ・質疑応答
- ・事務連絡
 - (1) サポーターの登録について（長寿社会課）
 - (2) 協議体メンバーの自己紹介（第2層協議体メンバー）

元気であるために、地域のなかで
自分が「できること・したいこと」を活かす

中居・矢中地区
(矢中地区)

岩鼻地区

居場所づくりで企業とコラボ



協議体として
どんなことができるか
考えよう！

店内やバックヤードを見学
させていただきました！

【目的】企業と連携して居場所づくりを考える。

【経緯】中居・矢中地区協議体の矢中地区にあるスーパーマーケット「アピタ」より「地域の方に活用してほしい」という話がありました。矢中地区では、アピタのある地域に居場所がないので、居場所づくりをしようという意向がありました。また、岩鼻地区からも買い物に行っている方が多く、地域住民にとって馴染みがありました。そこで、2地区の協議体とアピタをマッチングすることを目的に、協議体の住民メンバーと関係者がアピタ見学ツアーを行いました。

【様子】店長さんのご案内で、アピタのバックヤードや店内を見学させていただきました。フードコートでは、すでに地域の方々が集い、まるで居場所のようにくつろぎながらお話をされている光景も見られました。

【今後】2地区の協議体が連携しながら、できることを検討していきます。

これならできる！
助け合い活動づくり
ワークブック



- ワークブックを使って**助け合い活動が創出できるようになる。**
- 参考書ではなく、協議体や地域で活用できるものにする。
- ・ **検討内容を自由に書き込んだり、振り返ったりすることができる。**
- ・ **話し合いや活動づくりの進捗を実感できる。**
- **できるところ、決めやすいところから取り組める柔軟な構成とする。**
- **誰でも楽しく気軽に取り組めるものにする。**
- **進めていくことで、アイデアやヒントが見つかるものにする。**

1. はじめに
2. なぜ、助け合いが必要なのか？
3. 助け合いの仕組みとは
4. ワークブックの使い方
- 1-① 困りごとの調査
- 1-② 困りごとの確認
- 2-① 助け合い活動のメニュー
- 2-② 助け合い活動の範囲（エリア）
- 2-③ 拠点・連絡先（電話）
- 2-④ 保険
- 2-⑤ 運営費（発足・継続）
- 2-⑥ 活動に対する謝礼（有償・無償・奨励金）
- 2-⑦ 収入
- 2-⑧ 組織役割分担
- 3-① サポーターの集め方
- 3-② サポーターの研修
- 4-① 活動周知



2-③ 拠点・連絡先（電話）

可能であれば、コーディネーター（調整役）が常駐できる場所があると、活動しやすいです。駅がある、と依頼先やサポーターが集まる場になったり、事務用品や書類を保管できたり、事務作業もできます。

連絡先（電話）は、活動も依頼した場合や、コーディネーター（調整役）が依頼先とサポーターとの調整をするために必要となります。

駅と連絡先について検討してみましょう。

《ポイント》

- 獲魚があることが期待しいですが、調査1つあれば近い時期は始まることは可能です。特に魚を釣くる必要はありません。

④ ユーザーインター（演習役）が演習である場所（観客）はあるか
例：借りられる場所（有償、無償）、公衆館

② 送点がない場合、書類の保管や事務作業をどうするか

③ コーディネーター（調整役）の連絡元をどうするか
例：車田の携帯電話を購入する。相手の電話を返す

右のページは、
書き込みができる
ようになっており、
協議体メンバーみんな
で考えたことを
メモ書きできます。

[illegible]

助け合い活動づくりに、 ワークブックを活用しよう



北・東・西地区

ワークブックを活用し、助け合い活動創出に向けニーズ調査



北・東・西地区協議体では、既存の助け合い活動を地区全体に広げていくことを目指し、ワークブックを活用しながら検討を重ねています。現在は、地域のニーズ調査に関する項目について協議を進めており、今後もワークブックに沿って話し合いを進めていく予定です。



区長・民生委員向け事業説明会

団塊の世代が75歳以上となる2025年を迎え、高齢者が地域で「いつまでも安心して暮らせるまち」にしていくためには、現行の社会保障制度に加え、一人一人が自分のできることを地域で活かし、お互い様の気持ちで支え合う互助の取り組みが必要となります。高崎市では、生活支援体制整備事業に基づき、市内全域に第2層協議体を26か所設置し、地域の支え合いの仕組みづくりなどを協議しております。今後さらにこの取り組みを推進し、支え合い活動を広げていくために、区長・民生委員の皆様を対象に、事業説明会を開催することになりました。ぜひ、協議体メンバーの皆様からお近くの区長・民生委員さんにお声がけいただけますと幸いです。

開催区分	①	②	③	④
主な対象者	倉淵、榛名、箕郷、群馬地域に 在住の区長・民生委員		旧高崎、新町、吉井地域に 在住の区長・民生委員	
日程	令和7年7月10日（木）		令和7年7月15日（火）	
時間 （開場時刻）	10:00～12:00 （開場 9:30）	14:00～16:00 （開場 13:30）	10:00～12:00 （開場 9:30）	14:00～16:00 （開場 13:30）
会場	市民活動センターソシアス 市民ホール （高崎市足門町 1669-2）		高崎市総合福祉センター たまごホール （高崎市末広町 115-1）	
内容	① 高崎市における支え合いの仕組みづくり ②第2層協議体の活動紹介			
申し込み	① FAX で申し込む ②電話で申し込む ③QR コードで申し込む			
問い合わせ先	高崎市福祉部長寿社会課 地域包括支援担当 TEL:027-321-1319 担当：小崎・横山・横塚・アシェ			

4・5月の第1層協議体の話し合いの内容



<住民企画会議>

- ・令和6年度活動報告
- ・令和7年度活動計画（区長・民生委員説明会、実施方針）
- ・令和7年度生活支援体制整備事業目標
- 「支え合い活動の普及啓発活動」「第2層協議体の自立的活動の強化」
- 「コーディネート機能の強化」「支え合い活動の創出継続のための支援」
- ・SNS やラジオ高崎を活用した周知活動、社会資源情報共有シート作成

<住民企画会議>

- ・区長・民生委員説明会について確認
- ・第2層協議体情報交換会（8/19）について意見交換
パネル展示（ポイント説明（市）→情報交換）
テーマ：居場所・見守り・生活支援等について
→事前に各協議体で聞きたいことをまとめておく
→参加者の疑問に応えられるよう、ナビゲート資料を作成

<事業推進会議>

- 【勉強会】
- ・生活支援体制整備事業の
制度説明
- ・事業推進体制の説明
- ・具体的な取り組みに
ついて説明

<事業推進会議>

- 【グループワーク】
- ・あんしんセンターの役割が明文化
されて今後第2層協議体の推進役
としてどうしていくか
- ・今まで感じていた推進役としての
課題をどのように解決していくか

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：☎027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

